

岐阜県職員倫理憲章 食品科学研究所実行計画

平成18年7月に発覚した不正資金問題に対する深い反省と再発防止への固い決意とともに、岐阜県職員としての基本理念を示すために平成18年12月28日に制定した「岐阜県職員倫理憲章」の内容を実践するため、下記のとおり食品科学研究所実行計画を定めます。

令和7年4月1日

1 法令を遵守するとともに、自らを厳しく律します。

- ・法令に照らして判断・行動し、疑惑や不信を招くことのないよう努めます。
- ・不当な圧力や働きかけに左右されることなく、誰にでも公平・公正に対応します。

【取組事項】

- 地方公務員法が定める守秘義務や情報公開制度・個人情報保護制度の趣旨等を理解し、これらを遵守し、企業情報などの適正な管理及び取扱いに努めます。
- 不当要求等に対しては、組織で対応できる体制を整え、職員等の被害を防止するとともに、いかなる圧力にも屈することなく、公正に対応します。

2 税の重みを深く認識し、無駄のない行政を進めます。

- ・経費の節減を徹底し、最少の経費で最大の効果を挙げるよう努めます。
- ・前例にとらわれず、常に業務を点検しながら見直しを図ります。

【取組事項】

- 年間を通じて適正かつ計画的な予算執行に努めます。
- 特定の職員にのみ業務量が偏らないよう、職員1人1人の業務量を把握し、所属全体での平準化を行います。
- 休暇取得の推進（メリハリをつけた業務推進）及び時間外勤務の縮減に努めます。

3 県職員としての自覚を高め、質の高い行政サービスを提供します。

- ・専門的な能力・知識と、幅広いものの見方・考え方の修得に努めます。
- ・法的根拠や仕組みを理解し、迅速・丁寧な業務を進めます。

【取組事項】

- 企業等が抱える技術課題に対して、技術相談・巡回技術支援・緊急課題技術支援・食品開発プロモーター派遣事業・企業ニーズ調査等により迅速かつ丁寧に対応します。
- 企業等からの依頼試験・開放機器利用に迅速かつ正確に対応します。

4 常に危機に備える意識を持ち、事故や不祥事を防止します。

- ・マニュアルを整備するなど、日頃からのチェック体制を確立します。
- ・どのような情報にも細心の注意を払い、組織としていち早く対応します。

【取組事項】

- あらゆる不測の事態発生時に迅速な情報伝達が行われるよう、緊急連絡体制を整備し、職員への情報伝達を速やかに行います。
- あらゆる情報に常に細心の注意を払い、いち早く不祥事等に至る危機を察知し、上司への迅速な状況報告と適切な対応により、問題発生を未然に防止します。

- 5 問題発生時には、事実をありのままに公表し、迅速かつ誠実に対応します。
- ・ 正確な情報の把握・公表に努め、責任の所在を明確にした上で問題の拡大を防ぎます。
 - ・ 徹底した原因究明を行い、適切な再発防止策を講じます。

【取組事項】

- 問題発生時には、迅速に正確な情報の把握に努め、関係機関と連携し情報提供を速やかに行います。
- その後、原因究明を徹底して行い、再発防止策を講じます。

- 6 職員が一丸となって、風通しのよい組織風土をつくります。
- ・ 自分の職責にとらわれず、知恵を出し合い、自由な議論ができる職場をつくります。
 - ・ 不都合な情報こそ速やかに包み隠さず明らかにできる組織をつくります。

【取組事項】

- 職員間のコミュニケーションを図り、職員一丸となって風通しのよい職場づくりを行います。
- 職員会議や部長会議を開催することにより、業務の進捗状況等について職員間の情報共有を図るとともに、課題やその解決方法等について自由闊達な議論を行います。
- 「報・連・相」を徹底し、良い情報はもとより、不都合な情報こそ上司への報告を速やかに行います。
- 管理職員は、定期的な職員面談を実施し、職員の日頃の考えや悩み等を把握するとともに、気軽に議論・意見具申のできる雰囲気づくりに努めます。

- 7 県民のひとりとして、積極的に地域や社会に貢献します。
- ・ 地域での活動に積極的に参加します。
 - ・ 環境問題などの社会を取り巻く身近な課題に率先して取り組みます。

【取組事項】

- 職員が地域活動等（地元の消防団や自治会等の地域活動、ボランティア活動等）に積極的に参加し、それを通して得た「ひとりの県民としての目線」を日々の業務にフィードバックします。
- 環境問題意識の啓発に努め、構内の環境美化を図ります。

- 8 県民との対話を大切にし、県民とともに「確かな明日の見えるふるさと岐阜県づくり」に取り組みます。
- ・ 県政全般にわたる情報を分かりやすく、積極的に公開します。
 - ・ 積極的に現場に出かけ、県民の意見や考えをお聴きし、政策・施策に活かします。

【取組事項】

- 企業ニーズを的確にとらえ、研究成果や企業に有用な情報をあらゆる機会を活用して積極的に発信します。
- 岐阜大学との共同研究を積極的に推進し、限られたリソースで最大限の成果を引き出します。